

災害特別委、大島、安塚を視察

市議会災害対策特別委員会（委員長は私）は12日、4日に災害救助法が適用された大島区の田麦と適用外となっている安塚区の須川などを視察してきました。

今冬4桁を超えた田麦では、3日に倒壊した共同車庫の現場や空き家の屋根雪の状況などを現地在住の方から案内していただき、見てきました。共同車庫は倒壊前にバックホーで除雪をしていたものの、連続して50センチ、80センチの降雪が続き、手の打ちようがなかったということでした。ここでは、要援護世帯のみならず、その他の世帯でも雪処理で困っているのが、支援対象を広げてほしいという要望が出されました。また、空き家の屋根雪が落ちて道路まで達する危険性のある場所も案内していただきました。

大島区からは菖蒲、安塚の船倉、上山經由で須川に行きました。船倉から須川に通じる道は須川の住民やキューピットのお客さんにとっては、信濃坂との道が通行できなくなっていた時の迂回路となる道です。きれいに除雪してありましたが、狭く、雪壁が両脇とも3、4桁になってました。須川では、スキー場で元キューピット職員の方から話を聞くことができました。ここでは、「大島区で救助法が適用されているのに、ここが適用されないのはおかしい」という声が出されました。確かに積雪はこの日2日50センチでしたが、大島区の大平付近と大差ない積雪ですので、こうした声が出て不思議ではありません。

3月定例議会審議日程（会議開始はいずれも10時）

月 日	会議名	会議室名	備考
2月27日（金）	本会議	議場	総括質疑
3月 2日（月）	本会議	議場	総括質疑
3月 3日（火）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月 4日（水）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月 5日（木）	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月 6日（金）	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月9日（月）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月10日（火）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月11日（水）	総務委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月12日（木）	総務委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月16日（月）	一般質問	議場	
3月17日（火）	一般質問	議場	
3月18日（水）	一般質問	議場	
3月19日（木）	一般質問	議場	橋爪登壇
3月24日（火）	本会議	議場	議案等採決



【スイセン】ヒガンバナ科の多年草。品種は1万を超えるとのこと。市内のあちこちで見かけます。寒いにもかかわらず花を咲かせる姿はとても魅力的です。草丈は15センチ～50センチ。きれいですが、全体に有毒です。花期は12月から翌年の5月頃まで。花言葉は「尊敬」「神秘」「自己愛」「うぬぼれ」などとなっています。写真は2月9日、大湊区にて撮影しました。



上の写真は、大島区田麦地内の共同車庫の倒壊現場を視察している様子。イラストは安塚区のキューピットバレースキー場での視察風景。

3月定例議会が27日から始まります。小菅新市長の初めての予算編成と予算議会です。どんな議論となるか注目です。傍聴にお出かけください。



吉川区で子育てしたコウノトリのペア（夫婦）が今年も交尾活動をはじめました。この調子だと、3月上旬には産卵し、卵を温め始めるでしょう。14日、吉川区内で撮影しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.2240 2026.2.22
 発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3627
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
 URL https://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第八八七回

朗読(2)

一週間ほど前、「しんぶん赤旗」号外を持って配布活動をしていたときのことです。ある家の玄関の戸を開けて「ごめんください」と声をかけたのですが、返事がありません。

もう一度、大きな声で「ごめんください」を繰り返そうとして、急ブレーキをかけた。誰かに電話をしておられるようなE子さんの声が聞こえてきたからです。

外に出て電話が終わるのを待つしかないなと思っていたのですが、流れてきた声を聞いていて、「えっ」と思いました。明らかに電話とは違った感じ……。何かを朗読しているようなのです。

「私は一度も彼の歌を聞いたことがありません。彼の歌唱力がどれくらいなのかはわかりませんが、彼が歌った歌が母親の心を動かしたことは間違いない事実です」

何ということでしょう、E子さんが朗読していた文章は私が数日前に書いたばかりの文章ではありませんか。

自分が書いた文章でも、何か月も経てば見ても聴いても誰の文章かと思うことがありません。しかし、今回の文章は書いてから数日ですから、鮮明に覚えています。黙って聴いているのは申し訳ない気もしましたが、そのまま聴き続けました。

「歌はけっこう大きい声で歌ったのでしょ。うか、施設のスタッフの人たちによると、従姉の息子の歌は隣の部屋にいた人たちにも聞こえたぞ」と。

E子さんの声はとてもやさしく、心地よい響きで伝わってきます。私は玄関にあつた赤や紫、黄色などの造花を見ながら、最後の「良かった、良かった」まで聴き入りました。

朗読が終わった段階で、もう一度声をかけると、今度はすぐに反応してくださいました。居間から玄関まで出てこれらE子さんは、私の顔を見てびっくりされたよう

です。でも、落ち着いて話をしてくださいました。

E子さんによると、朗読はお連れ合いに聴いてもらっているとのことでした。そして、私の書いた「春よ来い」は毎回朗読してくださいっているというのです。これにはびっくりしましたし、感激しました。

E子さんは、浦川原区東俣に住んでいた久代さん(故人)と仲良しで、歌がとても上手な人です。確かに、歌と朗読は違いますが、聴いてくれる人に思いがしつかり伝わるかどうか、そこには共通したものがあのように思うのです。E子さんの朗読は人の心に響きます。

私も数年前、私のエッセイ集『じゃがじゃが煮』のなかの「最後の涙」という話を親しくしていたK子さんに読んだことがあります。

「最後の涙」は尾神岳のふもとで生まれ、尾神郵便局に長く勤めていた正博さんとほぼ同年代のK子さんが柿崎病院で最後に正博さんと会った時のことを書いた切ない、悲しい話です。その朗読の時のことはいまでも鮮明に記憶しています。

話の中にK子さんが登場していることや「わからんこて、そんげなかつこしてりゃ」など方言がふんだんに使われていることもあって、笑いが次々と生まれましました。私は朗読が得意ではありませんが、喜んで聴いてもらえたことをとてもうれしく思ったものです。

これまで私が書いた文章は朗読ボランティアの小田順子さんや頸城区の村松かずみさんなどのグループの朗読で聴いたことがあります。いずれも「新春のつどい」や朗読の会などでの朗読です。でも今回は家庭の中での朗読です。E子さんのように、家で声を出して誰かに読んでくださる人がいても不思議ではないのですが、新発見をしたような気分になりました。

消防庁舎の耐震工事などで質問

上越地域消防事務組合議会の定例議会が18日に開催されました。中心議題は総額38億9900万円の新年度の一般会計予算です。「将来を見据えた消防力の維持向上」を目標に、消防庁舎等の整備、消防通信指令施設整備等の経費が計上されました。議案はすべて全会一致で可決されました。私からは、「消防庁舎は災害対応の拠点施設だ。頸北署で耐震補

強設計・工事予算が計上されているが、この他に耐震補強が必要な庁舎はないのか」「近年、大規模林野火災があちこちで発生している。国の方から資機材整備の基準とか方針とかが示されているか」などの質問をしました。耐震工事はいまのところ他庁舎にはないようです。林野火災対策の資機材は他所の消防組合と比べても充実しているそうです。



前号記事で、「LEDの生産は来年度で終わる」は「蛍光管の生産」の間違いでした。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月11日(水)	2月18日(水)
上越消防署	0.053	0.057
上越南消防署	0.040	0.043
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.050	0.047
頸南消防署	0.063	0.063
東頸消防署	0.057	0.047
名立分遣所	0.060	0.060
高土分遣所	0.057	0.050